

# 市政ニュース

## 市議会役員決定

### 議長は木谷敏勝さん、副議長は芝地邦彦さん

11月12日、市議会臨時会が開催され、議会役員が決まりました。

議長に木谷敏勝さん、副議長に芝地邦彦さん、議会選出の監査委員に青山憲司さんがそれぞれ選ばれました。



監査委員  
青山 憲司

副議長  
芝地 邦彦

議長  
木谷 敏勝

なお、各委員会の委員長、副委員長は次のとおり決定しました。  
(敬称略)

- は委員長、○は副委員長です。
- 常任委員会
- 【企画総務委員会】
- 福田剛久 ○安治川敏明
- 【市民福祉委員会】
- 村岡峰男 ○野口逸敏
- 【文教委員会】
- 門間雄司 ○椿野仁司
- 【建設経済委員会】
- 升田勝義 ○井上正治
- 議会運営委員会
- 岡 満夫 ○伊藤 仁
- 特別委員会
- 【議会広報特別委員会】
- 伊賀 央 ○峰高正行
- 【交通網問題調査特別委員会】
- 野口逸敏 ○関貫久仁郎
- 【庁舎建設調査特別委員会】
- 古池信幸 ○嶋崎宏之
- 【議会改革特別委員会】
- 岡谷邦人 ○宮田 弘

## 市ホームページに企業誘致ガイドページを開設 & 企業ガイドブック発行

市ホームページに、企業立地に関する手続きや優遇施策などの情報を提供する「豊岡市企業誘致ガイド」ページを開設しました。

【企業誘致ページアドレス】  
<http://www.city.toyooka.lg.jp/hp/kgiyounuuchi/>

また、昨年に続き「豊岡市企業ガイドブック」2011年度版を作成し、市内の58企業の会社概要や採用状況を掲載しています。

ガイドブックは、本市で就労を考えている方、U・I・Jターン希望者などに無料で配布していますので、希望者は問い合わせ(経済課エコーバレー推進係 ☎23-4480)ください。



▲2011企業ガイドブック

## 地域主体公共交通支援パイロット事業

### チクタク奥山線出発式開催

11月3日、出石町奥山で、チクタク奥山線の出発式を開催しました。「チクタク奥山」は、市の支援を受けながら、出石町の奥山区・和屋区・榎見区関係者で構成する「チクタク奥山運営協議会」が主体となつて運行する地域の乗合タクシーです。

出発式当日は、車両や地元ボランティア運転手の紹介の後、関係者に見守られながら、記念すべき第1便が出発しました。



▲玄さんもお祝いに駆け付けました

## 主な市政の動き

- 【10月】
- 11日 生物多様性交流フェア 出展(29日)
- 12日 三方東部工業団地B区 画譲渡
- 20日 市議会(全員協議会)開 会
- 24日 生物多様性条約第10回 締約国会議(CBD/COP10)ステージイ ベント、生物多様性 国際自治体会議参加 (26日)
- 27日 CBD/COP10サイ ドイイベント
- 28日 水道料金市民説明会 (城崎地域、31日・日 高地域)
- 29日 コウトリの生息地を全 国に広げる市民かいき
- 30日 第4回コウトリ未来・ 国際かいき(31日)
- 第61回豊岡市美術展 (11月3日)
- 【11月】
- 2日 水道料金市民説明会 (但東地域、3日・竹 野地域、4日・豊岡 地域、11日・出石地域)
- 5日 永楽館大歌舞伎(10日) 市議会(臨時会)開会
- 12日

より快適な憩い・集いスポット完成

## 図書館出石分館、出石子育てセンター 移転整備完成

図書館出石分館と出石子育てセンターの出石総合支所内への移転整備が完成し、10月27日記念式典を開催しました。その後、図書館では施設見学や整備記念おはなし会など



▲図書館ウッドデッキ

のお披露目を催し、子育てセンターでは、「感謝の集い」として、ハ

ンドベル演奏や歌、ダンス、人形劇などを行い、施設のオープンを祝いました。

図書館には、これまでになかった「おはなしのへや」や専用学習席ができ、郷土資料室には齋藤隆夫コーナーも常設しています。また、ウッドデッキを設置し、屋外での読書もできるようになっています。さらに、市内の図書館の中で唯一のフローリング仕様で快適な施設となっています。子育てセンターは、床面は



▲図書館、子育てセンターオープンイベント「ハンドベル」

衝撃を吸収できるタイルカーペット敷きとし、食育活動に利用できるミニキッチンや子供用トイレが新設されています。子育てグループ活動室や相談室も整備しました。

## スポーツの秋、世界のトップクラスのランナーを講師に招いて、豊岡市陸上競技教室を開催

10月31日、豊岡総合スポーツセンターで陸上競技教室を開催しました。

今年、北京オリンピック男子4×100メートルリレー銅メダルの末續慎吾さんと、棒高跳び競技で昨年の学生チャンピオンである萩田大樹さんを講師に迎えました。教室には、市内中学校と但馬地域の高等学校の陸上競技

## 豊岡市陸上競技教室を開催

部員や指導者など130人が参加し、トレーニングの方法や試合で意識するポイントなど、実技を交えて、丁寧な指導を受けました。

最後は、末續さんと一緒に30メートルダッシュを行いました。末續さんの走りの速さに、参加者や観客席からは「さすが！」と驚きの声が上がっていました。



▲末續さんのスピードに「速い！」と驚嘆

## 中貝市長の徒然日記 ③7

世界への扉

10月3日午後6時30分。エーゲ海に浮かぶレスボス島から、但馬県民局の中塚局長に電話を入れました。日本時間の4日午前0時30分です。「あ、中塚さん？中貝です。加盟決定です！」

その瞬間、電話の向こうでワーッとという歓声と拍手が聞こえました。後は、私が何を言っても誰も聞いていない、という状態でした。

山陰海岸ジオパークが、世界ジオパークとして認められたのです。

長い道のりでした。昨年、ようやく国内候補地に選定され、今年8月には、ギリシャ人とアイルランド人の審査員が現地審査にやってきました。歴史的な名文句は、むなしく夕暮れのエーゲ海へと消えていってしまったのであります。でも、決まって、あー、よかったです。

私が現地入りした日の前日、ヨーロッパの候補地に関する発表がされました。その場にいたわがスタッフの目撃によると、「8つの候補地のうち3つが落選した。代表団はがっくりと肩を落とし、会場を去っていった」。

自信満々でいた山陰海岸のスタッフは、すっかり心配顔になっていました。

3日は、ヨーロッパ以外の審査です。まず、カナダのジオパークが加盟を認められ、続いて中国。「次は中国に近い国の加盟です：山陰海岸！」「やった!!」

200人ほどの会場で拍手が沸きました。スタッフと握手をして、舞台上上がり、認定証を受け取りました。

実は中塚さんに電話した時、事前に考えていた決め文句がありました。「世界への扉が開かれました！」

しかし、もはや耳を傾ける人は誰一人なく、考え抜いた歴史的な名文句は、むなしく夕暮れのエーゲ海へと消えていってしまったのであります。でも、決まって、あー、よかったです。

わくわく世界進出 びやぞー!

